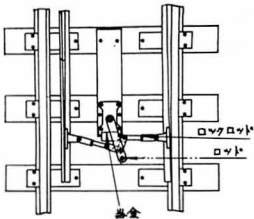
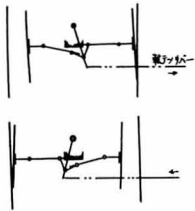


4. ゲレンク鎖錠装置



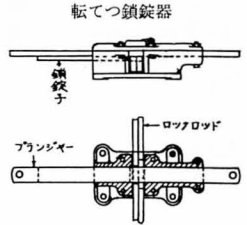
5. 簡易鎖錠装置



6. エスケープアーム

に取付けられた鉄板製の敷板上に、ボルトによって緊締して使用される。構造は鑄鉄製の台および台の縦みぞ内にそう入されたプランジャと、これと直角の横みぞ内にそう入されたロックロッドからなり、上部からふたをボルト締めにしてあって、ふたにはプランジャとロックロッドの関係位置が見えるように揚げふたが付いている。

プランジャには下面に鎖錠子を取り付いており、ロックロッドは主ロックロッド・副ロックロッドからなっていて、その上面に定位・反位2個の切欠きが設けられている。そしてロックロッドは先端軌条の先に取り付けられている、フロントロッドに接続されていて、先端軌条といっしょに動作し、プランジャは鉄管装置を経て鎖錠のてこに接続されている。



いま鎖錠のてこが定位にある場合、プランジャ下面にある鎖錠子は、ロックロッドの切欠きからはずれているから、転轍器は、定位・反位いずれにも転換できるが、鎖錠のてこを反位とすれば、鎖錠子はロックロッドの切欠きにそう入されるから、転轍器は転換できなくなる。すなわち転轍器が定位にある場合、鎖錠のてこを反位にすれば、鎖錠子はロックロッドの定位の切欠きにそう入して、ロックロッドを定位に鎖錠し、したがって転轍器を定位に鎖錠するのである。また転轍器が反位にある場合は、同様にしてこれを反位に鎖錠する。

かように転轍鎖錠器は、転轍器が完全に定位か反位になっていなければ、プランジャの鎖錠子がロックロッドの切欠きに引懸って動かないような構造となっているから、したがって鎖錠のてこは完全に反位に転換できないものである。

なお複式転轍双動機に用いる場合、およびエスケープクランク、エスケープアーム等と併用して用いる場合には、てこの定位・反位によって、転轍器を定位・反位に鎖錠するようになっているため、鎖錠子の断面を凹(おう)・凸(とつ)形としたものを用いているのである。電氣的に転轍器を鎖錠するものに電磁転轍鎖錠器および電気鎖錠器がある。(菊地得夫)

てんてつしゅ 転轍手 駅におかれる職で、運転掛または操車掛の指揮をうけて、転轍器の転換・鎖錠・掃除等を行うものである。1年以上連結手の職にあって、1年以上転轍手の実務見習をしたものから採用する。(加藤誠次郎)

てんてつそうち 転轍装置 (英) point or switch movement

停車場構内には一般に多くの線路が集っているので、1つの線路から他の線路に分岐するために転轍器が設けられる。この転轍器を1つの線路から他の線路に方向をかえて列車または車両を転線させるのである。このように転轍器の開通方向をかえるために必要に応じ機械または動力の装置を設けて転轍器の取扱いを容易にする。この機械または動力の装置を総称して転轍装置という。

転轍装置には単に転轍器の転換のみをするものと、転換してさらに鎖錠(さじょう)するものとある。また手動によるものと動力によるものといろいろの種類があり、その使用方は転轍器の重要度ならびに連動装置の種類に応じて決められる。転轍装置にはつぎのようなものがある。

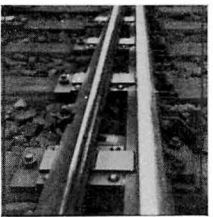
双動転てつ器 (複式転てつ換および鎖錠装置を設備したもの)



転轍器の種類	転轍器の敷設せらるる線路の種類	転轍器の対向の背向の別	転換並びに鎖錠装置	摘要
転轍器 (遷移転轍器を除く)	甲線および重要な乙線の本線路(貨物専用本線路を除く)	対向	複式	副本線出発進路上のもので、比較的、速度低きものに対しては単式とすることができる。入換に対向とならないものは簡易とすることができる。
		背向	単式	
	前記以外の本線路(貨物専用本線路を除く)	対向	単式	運転の状況により簡易(入換に対向とならないものは、アジャストクランクまたは直角クランク)となすことができる。
		背向	単式	
	甲線および重要な乙線にして通過列車専用本線路	対向	複式	入換に対向とならないものは簡易とすることができる。なお運転の状況によっては、アジャストクランクまたは直角クランクとすることができる。
		背向	単式	
前記以外の貨物専用本線路	対向	単式	入換に対向とならないものは運転の状況によりアジャストクランクまたは直角クランクとすることができる。	
	背向	簡易		
側線		対向	簡易	運転の状況によりアジャストクランクまたは直角クランクとすることができる。
		背向	簡易	
遷移転轍器および脱線器			簡易	

作しようとするもので、だいたいの構造は、せん端軌条または可動軌条にローラ付支金を取付け、ローラが受金上を転動するようになっており、その際軌条は、その底面が床板に接することなく転換される。転轍減摩器が完全に働けば、転轍器自体の転換力を、60~70%に軽減することができる(写真-7)。

転轍器転換ならびに鎖錠装置を設備する標準は上表のようにになっているが、これはだいたいの基準を示したものであるから、実施の場合はよく現場を調査して決めることが必要である。(横田敏夫)



7. 転てつ減摩器

てんてつさじょうき 転轍鎖錠器 (英) plunger 転轍器の尖(せん)端軌条の密着を照査し、かつこれをその位置に鎖錠するものであって、転轍器まくら木上2丁、あるいは3丁またぎ